

「金沢市DXアクションプラン 2.0」(仮称)骨子案(パブリックコメント資料)

項目	内容	(参考)現行プラン
名称	金沢市DXアクションプラン 2.0 (仮称)	金沢市DXアクションプラン
計画期間	4年間 (令和8年度から令和11年度まで) … 未来共創計画の「充実期」に同じ	3年間 (令和5年度から令和7年度まで)
基本理念	全ての人が便利に暮らし、幸せを実感するまちへ	(同左)
行動指針	市民目線 … 市民の利便性向上に取り組む スピード感 … 社会の変化に迅速に対応して取り組む チャレンジ … できることから積極的に取り組む 成果検証 … 成果と結果の検証を重視して取り組む デジタルファースト … デジタルの活用を前提に取り組む	(同左)
取組方針	<p>基本理念であるデジタルにより「全ての人が便利に暮らし、幸せを実感する」ための取組を推進する。</p> <p>このプランでは、デジタルの「社会浸透」と「社会実装」に資する施策全般を推進することを基本としつつ、「あらゆる分野におけるデジタル化の推進」が未来共創計画の5つの基本方針の横断的視点とされていることも踏まえ、デジタルを活用して、全ての人にとっての利便性の向上と、市民・大学・企業などの多様な主体と共創ができる環境の整備に向けて、利用者の視点を大切にしながら施策を展開していく。</p> <p>(未来共創計画の5つの基本方針)</p> <p>基本方針 1 世界に誇る伝統と創造の文化が息づくまち ～ 魅力づくり～ 基本方針 2 多様な人々が共生し、心豊かに暮らせるまち ～ 暮らしづくり～ 基本方針 3 共に学び、未来を創る人を育むまち ～ 人づくり～ 基本方針 4 創造・変革により成長するまち ～ 仕事づくり～ 基本方針 5 活力と個性があふれ、安全で持続可能なまち ～ 都市づくり～</p>	<p>基本理念であるデジタルにより「全ての人が便利に暮らし、幸せを実感する」ための取り組みを推進する。</p> <p>DXによる「デジタル社会」を切り開くため、本市がこれまで築いてきた大切な資産を最大限活用することとし、4つの分野で重点的に施策を展開していく。</p> <p>(4つの分野) 産業・地域・文化・教育</p>

項目	内容	(参考)現行プラン
取組の方向性	<p>【全般】 デジタルの社会浸透 デジタルの社会実装</p> <p>【視点】 1. 全ての人の利便性向上 デジタルにより、全ての人の人にとっての利便性の向上に向けて、利用者の視点を大切に にして施策を展開していく (例) ・ 電子申請、電子納付の充実 ・ マイナンバーカードの活用による安全・安心・便利な行政手続の整備 ・ 生成 AI を活用した手続きや応答の自動化 ・ 庁内事務のデジタル化、生成 AI の活用の推進</p> 2. 共創のための環境整備 デジタルにより、市民・大学・企業などの多様な主体と共創ができる環境の整備に向 けて、利用者の視点を大切に施策を展開していく (例) ・ 情報(データ)、地域課題、意見、発想、技術等を共有できる場の構築 ・ あらゆる分野でのデジタル人材の育成 ・ 金沢とつながる人々が交流できる機会の創出 ・ デジタルデバイドの解消に向けた取組の推進 <p>【分野】 1 魅力づくり 世界に誇る伝統と創造の文化が息づくまちの実現に向けたデジタル施策を推進</p> 2 暮らしづくり 多様な人々が共生し、心豊かに暮らせるまちの実現に向けたデジタル施策を推進 3 人づくり 共に学び、未来を創る人を育むまちの実現に向けたデジタル施策を推進 4 仕事づくり 創造・変革により成長するまちの実現に向けたデジタル施策を推進 5 都市づくり 活力と個性があふれ、安全で持続可能なまちの実現に向けたデジタル施策を推進	<p>デジタルの社会浸透</p> <p>全ての人の利便性向上 ・ マイナンバーカードを活用した サービスの実装 ・ AI やドローンなどデジタル 技術の活用 ・ オンラインによるサービスの 充実</p> <p>産業 生産性の向上と価値の創造 地域 住民相互の交流と連帯意識 の醸成 文化 「文化都市金沢」を推進 教育 誰もが学び成長</p>